

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	歴史文化学コース (西洋史学主履修分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説理的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 	<p>歴史文化学コースでは、人間の歴史・文化・思想・言語、思考・行動・創造について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする歴史文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような歴史文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、歴史学・考古学分野全般を概観する概念的な科目を学ぶと共に隣接諸科学の知見を広める。2年次には、歴史学・考古学研究の各専門分野の基本的思考法や研究方法を学ぶ講義科目や文献講読を中心とした科目を履修し、最新の研究状況の把握に努める。3年次には、研究対象に対して広範かつ高度な分析を行う手法を学び、さらに、自分の関心に基づいて独自の研究を行う準備を整えるための各専門分野の科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめるのが最終的な課題である。これに加え、各年次でそれぞれの専門分野に必要とするスキルを習得するために用意された講義や演習を履修する。</p>	<p>過去の人類の営みをたどることで、現代社会が直面する多くの問題の本質を理解し、将来を展望する能力を高めることができる。</p> <p>設定した課題に対して、多様な手段を駆使して情報を収集し、必要な知見を精査、抽出できる。</p> <p>史料を正確に読解し、論点を整理、要約して、口頭や文書などで報告することができる。</p> <p>多くの文献に当たり、多様な学説を相互に検証しつつ考察を重ねることで、独自の論考にまとめることができる。</p> <p>時間、空間の異なる世界を考察の対象とし、多様な価値観や思考法に接することで、それらに共感し、理解する能力を高めることができる。</p> <p>歴史的事象との対話を繰り返すことで、深い洞察力と幅広いイースペクティブを養うことができる。</p>
---	---

主履修分野のカリキュラム

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4						
21301	歴史学入門	歴史を歴史学として見る眼を養うとともに、特定テーマに関してグループごとの調査・発表を行う。	1					○	○			○	
21303	グローバルヒストリー	一国史の枠を超えた、グローバルな視点で歴史を考察する力を養う。	2					○				○	○
21302	歴史学と現在	戦後日本の史学史を学ぶことを通じて、歴史学の存在意義を理解する。	1					◎			○	○	
41743	地中海世界史概説A	古代・中世における地中海沿岸世界の発展の全体像を把握する。	1,2,3,4	*				◎				◎	◎
41744	地中海世界史概説B	Aに引き続き、古代・中世における地中海沿岸世界の発展の全体像を把握する。	1,2,3,4		*			◎				◎	◎
41745	西洋中世史概説A	ヨーロッパ中世史の全体像および個々の重要な事柄とその基層をなす骨組みについて理解を深める。	1,2,3,4	*				◎				◎	◎
41746	西洋中世史概説B	Aに引き続き、ヨーロッパ中世史の全体像および個々の重要な事柄とその基層をなす骨組みについて理解を深める。	1,2,3,4		*			◎				◎	◎
41747	西洋近代史概説A	西洋近代史研究のあゆみを理解する。	1,2,3,4			*		◎				◎	◎
41748	西洋近代史概説B	西洋近代世界の成立と発展を理解する。また西洋近代の現代的意味を理解する。	1,2,3,4				*	◎				◎	◎
41749	地中海世界政治史特殊講義A	古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の政治過程上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2,3,4	*		*		○				○	○
41750	地中海世界政治史特殊講義B	Aに引き続き、古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の政治過程上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2,3,4		*		*	○				○	○
41751	地中海世界社会史特殊講義A	古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の社会史上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2,3,4	*		*		○				○	○
41752	地中海世界社会史特殊講義B	Aに引き続き、古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の社会史上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2,3,4		*		*	○				○	○
41753	地中海世界国際関係史特殊講義A	古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の国際関係上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2,3,4	*		*		○				○	○
41754	地中海世界国際関係史特殊講義B	Aに引き続き、古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の国際関係上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2,3,4		*		*	○				○	○
41755	西洋中世都市史特殊講義A	ヨーロッパ中世都市史の全体像および個々の論点について理解を深め、中世都市を研究する上での留意点も学びとる。	2,3,4	*		*		○				○	○

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	歴史文化学コース (西洋史学主履修分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 	<p>歴史文化学コースでは、人間の歴史・文化・思想・言語、思考・行動・創造について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする歴史文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような歴史文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文学類の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、歴史学・考古学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶと共に隣接諸科学の知見を広げる。2年次には、歴史学・考古学研究の各専門分野の基本的思考法や研究方法を学ぶ講義科目や文献読誦を中心とした科目を履修し、最新の研究状況の把握に努める。3年次には、研究対象に対して広範かつ高度な分析を行う手法を学び、さらに、自分の関心に基づいて独自の研究を行う準備を整えるための各専門分野の科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめるのが最終的な課題である。これに加え、各年次でそれぞれの専門分野に必要とするスキルを習得するために用意された講義や演習を履修する。</p>	<p>過去の人類の営みをたどることで、現代社会が直面する多くの問題の本質を理解し、将来を展望する能力を高めることができる。</p> <p>設定した課題に対して、多様な手段を駆使して情報を収集し、必要な知見を精査、抽出できる。</p> <p>史料を正確に読解し、論点を整理、要約して、口頭や文書などで報告することができる。</p> <p>多くの文献に当たり、多様な学説を相互に検証しつつ考察を重ねることで、独自の論考にまとめることができる。</p> <p>時間、空間の異なる世界を考察の対象とし、多様な価値観や思考法に接することで、それらに共感し、理解する能力を高めることができる。</p> <p>歴史的事象との対話を繰り返すことで、深い洞察力と幅広いイースペクティブを養うことができる。</p>
---	---

主履修分野のカリキュラム

科目番号	授業科目	学生	学	Q	Q	Q	Q						
		の学	年	1	2	3	4						
41756	西洋中世都市史特殊講義B	Aに引き続き、ヨーロッパ中世都市史の全体像および個々の論点について理解を深め、中世都市を研究する上での留意点も学ぶ。	2,3,4		*		*					○	
41757	西洋中世国制史特殊講義A	ヨーロッパ中世の諸国家の国制に関して、歴史的経緯をふまえてその構造を把握し、比較の眼を養う。本講義で扱うスイスの特質についても理解を深める。	2,3,4	*		*						○	○
41758	西洋中世国制史特殊講義B	Aに引き続き、ヨーロッパ中世の諸国家の国制に関して、歴史的経緯をふまえてその構造を把握し、比較の眼を養う。本講義で扱うスイスの特質についても理解を深める。	2,3,4		*		*					○	○
41759	西洋中世社会史特殊講義A	ヨーロッパ中世社会に関するさまざまな問題に関して歴史学的な考察の眼を養う。	2,3,4	*		*						○	○
41760	西洋中世社会史特殊講義B	Aに引き続き、ヨーロッパ中世社会に関するさまざまな問題に関して歴史学的な考察の眼を養う。	2,3,4		*		*					○	○
41761	西洋近代国際関係史特殊講義A	イギリス帝国史を中心に、西洋近代の国際関係全般について理解を深める。	2,3,4	*		*						○	○
41762	西洋近代国際関係史特殊講義B	南アフリカ史を中心に、西洋近代の国際関係全般について理解を深める。	2,3,4		*		*					○	○
41763	西洋近代政治文化史特殊講義A	イギリス帝国史を中心に、西洋近代の政治文化全般について理解を深める。	2,3,4	*		*						○	○
41764	西洋近代政治文化史特殊講義B	南アフリカ史を中心に、西洋近代の政治文化全般について理解を深める。	2,3,4		*		*					○	○
41765	西洋近代文化表象史特殊講義A	イギリス帝国史を中心に、西洋近代の文化表象全般について理解を深める。	2,3,4	*		*						○	○
41766	西洋近代文化表象史特殊講義B	南アフリカ史を中心に、西洋近代の文化表象全般について理解を深める。	2,3,4		*		*					○	○
41767	地中海世界政治史演習A	古代・中世の地中海政治史に関する一次史料の英訳を輪読しながら、そこからいかなる情報が得られるかを検証する。	2,3,4	*		*			△	△	△		△
41768	地中海世界政治史演習B	Aの課題を引き継ぎ、その深化を目指す。	2,3,4		*		*		△	△	△		△
41769	地中海世界社会史演習A	古代・中世の地中海社会史に関する一次史料の英訳を輪読しながら、そこからいかなる情報が得られるかを検証する。	2,3,4	*		*			△	△	△		△
41770	地中海世界社会史演習B	Aの課題を引き継ぎ、その深化を目指す。	2,3,4		*		*		△	△	△		△
41771	地中海世界国際関係史演習A	古代・中世の地中海国際関係史に関する一次史料の英訳を輪読しながら、そこからいかなる情報が得られるかを検証する。	2,3,4	*		*			△	△	△		△
41772	地中海世界国際関係史演習B	Aの課題を引き継ぎ、その深化を目指す。	2,3,4		*		*		△	△	△		△

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	歴史文化学コース (西洋史学主履修分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人ひと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 	<p>歴史文化学コースでは、人間の歴史・文化・思想・言語、思考・行動・創造について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする歴史文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような歴史文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、歴史学・考古学分野全般を概観する概念的な科目を学ぶと共に隣接諸科学の知見を広める。2年次には、歴史学・考古学研究の各専門分野の基本的思考法や研究方法を学ぶ講義科目や文献講読を中心とした科目を履修し、最新の研究状況の把握に努める。3年次には、研究対象に対して広範かつ高度な分析を行う手法を学び、さらに、自分の関心に基づいて独自の研究を行う準備を整えるための各専門分野の科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめるのが最終的な課題である。これに加え、各年次でそれぞれの専門分野に必要なスキルを習得するために用意された講義や演習を履修する。</p>	<p>過去の人類の営みをたどることで、現代社会が直面する多くの問題の本質を理解し、将来を展望する能力を高めることができる。</p> <p>設定した課題に対して、多様な手段を駆使して情報を収集し、必要な知見を精査、抽出できる。</p> <p>史料を正確に読解し、論点を整理、要約して、口頭や文書などで報告することができる。</p> <p>多くの文献に当たり、多様な学説を相互に検証しつつ考察を重ねることで、独自の論考にまとめることができる。</p> <p>時間、空間の異なる世界を考察の対象とし、多様な価値観や思考法に接することで、それらに共感し、理解する能力を高めることができる。</p> <p>歴史的事象との対話を繰り返すことで、深い洞察力と幅広いイースペクティブを養うことができる。</p>
---	---

主履修分野のカリキュラム

科目番号	授業科目	学生	学	Q	Q	Q	Q	Q						
		の学	年	1	2	3	4							
41773	西洋中世都市史演習A	外国語文献を講読しながら、ヨーロッパ中世都市に関して考察を進める上での問題点を把握する。	2,3,4	*		*			△	△	△		△	△
41774	西洋中世都市史演習B	Aの課題をさらに深める。	2,3,4		*		*		△	△	△		△	△
41725	西洋中世国制史演習A	外国語文献を講読しながら、ヨーロッパ中世の国制に関して考察を進める上での問題点を把握する。	2,3,4	*		*			△	△	△		△	△
41776	西洋中世国制史演習B	Aの課題をさらに深める。	2,3,4		*		*		△	△	△		△	△
41777	西洋中世社会史演習A	外国語文献を講読しながら、ヨーロッパ中世の社会史に関する問題点を把握する。	2,3,4	*		*			△	△	△		△	△
41778	西洋中世社会史演習B	Aの課題をさらに深める。	2,3,4		*		*		△	△	△		△	△
41779	西洋近代国際関係史演習A	ヨーロッパとは何かを問う英文テキストを輪読しながら、ヨーロッパとは何かを国際関係史的観点から考察する。卒論作成に必要な英文の専門書を読む力をつけるとともに、ヨーロッパ史研究に関する最新の研究動向を理解する。	2,3,4	*		*			△	△	△		△	△
41780	西洋近代国際関係史演習B	ひき続きAの課題を深める。	2,3,4		*		*		△	△	△		△	△
41781	西洋近代政治文化史演習A	卒論作成に必要な英文の専門書を読む力をつけるとともに、ヨーロッパ史研究に関する最新の研究動向を理解する。	2,3,4	*		*			△	△	△		△	△
41782	西洋近代政治文化史演習B	ひき続きAの課題を深める。	2,3,4		*		*		△	△	△		△	△
41783	西洋近代文化表象史演習A	ヨーロッパとは何かを問う英文テキストを輪読しながら、ヨーロッパとは何かを文化表象史的観点から考察する。卒論作成に必要な英文の専門書を読む力をつけるとともに、ヨーロッパ史研究に関する最新の研究動向を理解する。	2,3,4	*		*			△	△	△		△	△
41784	西洋近代文化表象史演習B	ひき続きAの課題を深める。	2,3,4		*		*		△	△	△		△	△
41741	西洋史学実習A	卒業論文作成の準備過程として、論文執筆のための実践的方法を取得する。	3	*	*				◎	◎	◎		◎	◎
41742	西洋史学実習B	ひき続きAの課題を深め、論文執筆の方法を学ぶ。	3			*	*		◎	◎	◎		◎	◎
31001	卒業論文演習A	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野における研究課題の設定、先行研究の調査・読解の適切な方法を身につける。 ・学術論文の形式を理解する。	4	*	*				◎	◎	◎		◎	◎
31002	卒業論文演習B	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野において適切な研究計画を遂行するための技法、考え方を身につける。 ・得られた情報を総合的に考察し、研究成果を的確に報告できるようになる。	4			*	*		◎	◎	◎		◎	◎

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	歴史文化学コース (西洋史学主履修分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)									
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人ひと共有するために、自らの議論を説理的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 		<p>歴史文化学コースでは、人間の歴史・文化・思想・言語、思考・行動・創造について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする歴史文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような歴史文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>									
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)		コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)									
<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、歴史学・考古学分野全般を概観する概念的な科目を学ぶと共に隣接諸科学の知見を広める。2年次には、歴史学・考古学研究の各専門分野の基本的思考法や研究方法を学ぶ講義科目や文献講読を中心とした科目を履修し、最新の研究状況の把握に努める。3年次には、研究対象に対して広範かつ高度な分析を行う手法を学び、さらに、自分の関心に基づいて独自の研究を行う準備を整えるための各専門分野の科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめるのが最終的な課題である。これに加え、各年次でそれぞれの専門分野に必要とするスキルを習得するために用意された講義や演習を履修する。</p>		<p>過去の人類の営みをたどることで、現代社会が直面する多くの問題の本質を理解し、将来を展望する能力を高めることができる。</p> <p>設定した課題に対して、多様な手段を駆使して情報を収集し、必要な知見を精査、抽出できる。</p> <p>史料を正確に読解し、論点を整理、要約して、口頭や文書などで報告することができる。</p> <p>多くの文献に当たり、多様な学説を相互に検証しつつ考察を重ねることで、独自の論考にまとめることができる。</p> <p>時間、空間の異なる世界を考察の対象とし、多様な価値観や思考法に接することで、それらに共感し、理解する能力を高めることができる。</p> <p>歴史的事象との対話を繰り返すことで、深い洞察力と幅広いイースペクティブを養うことができる。</p>									
主履修分野のカリキュラム											
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4				
31003	卒業論文	・学術論文の習作と位置づけられる論文を執筆することで、自らの研究成果を公表する技法を学ぶ。 ・人文的学問において要求される論理性や科学性の質、水準を理解し、それを充たすために必要な論述の条件について知る。	4			*	*		◎	◎	◎
11057	人文学序説A	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・ラボラトリ(実験)・サーベイ(調査と分析)という方法の基礎的な知識を理解する。	1	*		(*)					○
11058	人文学序説B	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・フィールドワーク(野外実習・調査)という方法の基礎的な知識を理解する。	1		*	(*)					◎
11059	人文学序説C	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・哲学・歴史学分野における具体的な研究実践やテキスト(文献)の扱い方について基礎的な知識を理解する。	1		(*)		*				◎
11060	人文学序説D	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・言語や文学に関するテキスト(文献)の扱い方について基礎的な知識を理解する。	1		(*)		*				○
11061	学類共通英語A	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	3	*							◎
11062	学類共通英語B	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・「学類共通英語A」より高いレベルで、英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	3		*						◎

※ (*)は年度によって開講時期が異なることを示します。